



筋書きのないドラマを生きる

鶴岡工業高等専門学校 校長事務代理
 宍戸 道明

高専では、「くさび型」のカリキュラムを通じて、工学の基礎理論と実践力の修得を重視した教育を行っています。しかし社会に出ると、在学中に身につけた基礎学力がそのまま産業に直結するというよりも、むしろ想定外の分野で新たな可能性が開くことも少なくありません。近年、探究・創造性教育やSTEAM教育、アントレプレナーシップ教育が注目を集めているのも、こうした社会の変化を背景としているといえるでしょう。

その象徴的な例が、近年急速に発展する生成AIです。産業へのAI導入はまだ始まったばかりですが、今後数年から十年の間に、産業構造そのものが大きく変わることが予想されています。ソフトウェア分野では諸外国が先行する一方で、実世界と密接に関わるフィジカルAIの分野においては、我が国が長年培ってきたものづくりの技術力や現場力を生

かし、国際的な競争力を発揮できる可能性があります。半導体産業に見られるように、高品質な素材や部品、加工技術を基盤とした産業創出の余地は、今なお残されています。

翻って、本校には在籍する学生の数だけ、かけがえのないドラマがあります。スポーツの世界が「筋書きのないドラマ」と呼ばれるように、学生一人ひとりの歩みもまた、最後まで結末の分からない物語です。その主役は、他ならぬ皆さん自身です。家族や友人、教職員など、多くの人々がそれぞれの役割で皆さんの人生の舞台に関わっていますが、どのような物語にするかは、主役である皆さんの選択と行動に委ねられています。

学修や研究の途上で立ち止まりそうになったときには、その原点に立ち返り、自らの可能性を信じて、力強く前進していくことを期待しています。

定年教員特集

Retired Faculty Members

「雑感－鶴岡高専を定年退職に当たり」 内山 潔

私が民間企業を辞めてアカデミックポストを得て、鶴岡高専で16年、前職からの通算で21年の年月が経ち、この度無事定年退職という運びになりました。この長きにわたり在職できたことは、ひとえに私を支えてくださったまわりの皆様方のおかげと感謝しております。

私自身、本校に着任する前は山形とは縁がなく、山形といえば蔵王や月山でスキーをする程度だったのですが、実際に住んでみて土地の食べ物のおいしさと住みやすさが気に入りました。その一方でやはり冬の積雪は厳しく、出勤前に早起きして雪かきしなければならないことに閉口しました。特に着任した年は大雪の年で、家に着いて駐車場に車を入れるために手袋もせずに雪かきしていたら、指にはめていた結婚指輪が外れてしまい行方不明になってしまったことが印象に残っています(幸いこれは春になり雪が解けたら雪の下から見つかりました)。

さて鶴岡高専での生活についてですが、研究に関しては主に燃料電池と薄膜トランジスタの研究開発を行いました。その結果、良好な結果を得ることができ、担当した専攻科学生は他大学の大学院生に交じて国際会議で発表し、優秀発表賞を受賞しています(これらの学生は本校専攻科を修了後、大学院へ進学し、現在研究職についています)。また、この成果を元に10報を超える学術論文を英語で出版するとともに、国際会議での招待講演も行うことができました。さらにこの成果を元に、科研費や多くの財団からの助成金を得ています。

一方、教育に関しては、本科低学年に対しては電気磁気学と電子工学、本科高学年や専攻科に対しては電気電子材料や数値計算、固体物理学を担当しました。なかでも電気磁気学は初学者には難しい内容ですが、できるだけわかりやすい内容にしたつもりです。しかしながら、その内容の面白さを完全には学生に伝えきることができなかったのではな

いかと反省しています。また、課外活動としては、女子バレー部やソフトテニス部、弓道部や陸上部などの顧問を担当しました。これらのなかで優れた成績が出た選手が現れたことは幸いでした。

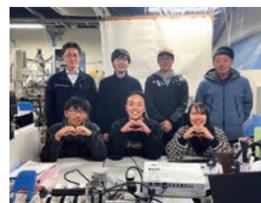
さて校内分掌としては、国際交流支援室長や電気・電子コース長、地域連携センター長を務めさせていただきました。長と名の付く役職を過去あまりやった経験がなかったのですが、皆様の支えをいただきその重責を果たすことができました。

さて今年度で私は退職することになりますが、この研究テーマは今年度着任した佐藤智也先生に引き継いでいただくことになりました。佐藤先生は私の研究室の本科と専攻科の修了生で、上述の国際会議で受賞した学生の1人です。学生時代から非常に優れた成績を残されていたので、今後の研究の発展に期待しています。また私は定年退職後も継続雇用という形で本校に在籍する予定ですので、佐藤先生と共同で研究を進めていきたいと考えています。

最後になりますが、16年にわたりつたない私を支えてくださった鶴岡高専の皆様へ感謝するとともに、今後の本校のさらなる発展を祈念しています。



加茂水族館のクラゲの展示前にて



令和7年度の内山・佐藤(智)研究室メンバー

新任教員紹介

New Faculty Members

今年度鶴岡高専に着任された6名の先生に、鶴岡高専の印象や今後の抱負について伺いました
 (編集：基盤教育グループ 石井智子)

—先生方のご所属と専門を教えてください。

Guillermo Guangorena先生(以下ギジェルモ)

情報コースのGuillermo Guangorena (ギジェルモ グアングレナ)です。昆虫由来バイオマテリアル、データサイエンスを専門としています。

桜井巨大先生(以下桜井)

基盤教育グループの桜井巨大(さくらい こうだい)です。理論物理学、素粒子現象論が専門です。

佐藤智也先生(以下佐藤)

電気・電子コースの佐藤智也(さとう ともや)です。専門は薄膜と燃料電池です。

徐嘉楽先生(以下徐)

機械コースの徐嘉楽(じょ からく)です。MEMS、触覚ディスプレイ、センサを専門としています。

杉本恭司先生(以下杉本)

基盤教育グループの杉本恭司(すぎもと きょうじ)です。専門は微分幾何学です。

百井順子先生(以下百井)

基盤教育グループの百井順子(ももい じゅんこ)です。専門は日本古典文学、特に平安期です。

—鶴岡高専の最初の印象はいかがでしたか？

徐 山や田んぼが近くにあり、自然が豊かです。よいね。

百井 私も景色がとても素晴らしいと思いました。

桜井 落ち着いた環境です。よいね。また、学生と教員の距離感が近いところも印象的でした。

ギジェルモ 私も学生たちの温かく協力的な雰囲気がとても印象的でした。キャンパスも落ち着いており、教育・研究の環境が整っていると感じました。

杉本 キャンパスの印象だと最初に校内の道を覚えるのが大変そうだと感じました。

佐藤 高専ならではのよいですね。私は2015年度専攻科修了生なので、母校に帰ってきたという安心感がありました。

—鶴岡高専の学生の印象はいかがですか？

百井 まじめで素直な印象です。校内で迷っていると案内してくれることもあり、とても親切だと思いました。

桜井 たしかに、実直で心の温かい学生が多いと思います。授業にも真剣に取り組んでいて、鋭い質問を投げかけられ、こちらが感心させられることもしばしばあります。

ギジェルモ そう、モノづくりや、実験などに主体的に挑戦する姿勢がとても良いところだと思います。また、私が日本語を学んでいることにも理解を示してくれて、気軽に英語で話しかけてくれるなど、国際交流にも興味や関心があると感

じました。

徐 学生のまじめなところと目標に向かって努力するところがいいですね。

佐藤 その通り、高専の学生は一致団結した時の爆発力もとても大きいですよ。

杉本 まじめさと熱心さ、それに基本的なところですけど、挨拶ができるところはとてもいいと思います。

—今後鶴岡高専でどのような教育・研究に力を入れていきたいですか？

ギジェルモ 教育ではデータ分析、AIなどで実践的な授業を目指しています。研究では昆虫由来のバイオマテリアルの開発を進め、データ駆動型手法を材料分析に応用していきたいです。また、私はメキシコで医師の経験もあるため、医療データを活用した地域の健康支援にも貢献していきたいと考えています。

佐藤 私は学内外での学びや研究を通じて、社会で真に必要な「人間力」を育みたいと考えています。

桜井 私は学生に数学の定義や定理などの計算手法を身につけさせるだけでなく、学んだ知識を応用できる力を育てていきたいです。また、研究では専門分野の素粒子現象論の発展に貢献し、特にヒッグス粒子や暗黒物質について両者を結びつける理論研究を進めていきたいと思っています。

杉本 自分の専門分野は非リーマン対称空間なのでこの研究でブレイクスルーをおこしたいです。

百井 私は庄内地方の文化について学び、今後の研究に繋がらねたらいいなと思っています。

徐 私は学生たちに「充実した学生生活だったな」と振り返ってもらえる研究・教育指導を目指していきます。



左から佐藤先生、徐先生、百井先生、ギジェルモ先生、桜井先生、杉本先生

コンテストや課外活動などで活躍した学生を紹介します

全国高専デザイン・コンペティション

本コンペティション(通称:デザコン)は、各高専で日頃より養い培われた学力、デザイン力の成果に基づいて創造力を活かして作品を製作し、競い合います。本校は、耐荷性・軽量性・デザイン性に優れた「紙の橋」を製作する「構造デザイン部門」、3Dプリンター技術を活用して作品を製作する「AMデザイン部門」、アイデアを審査する「ブレデザコン部門」にエントリー・出場しました。

【開催日】2025年11月8日(土)～9日(日)

【会場】福井県「鯖江市郷陽会館」鯖江市まなべの館

●構造デザイン部門

テーマ『Stylish』な橋

所与の支点間隔で支持される橋梁を製作し、耐荷性、軽量性、デザイン性、創造性などを競う。

【本校出場者】

Aチーム「月山2」本選出場

- ・阿部 来翔(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・五十嵐胡雄(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・土井紗稀寧(創造工学科 情報コース 3年)

Bチーム「鵲」本選出場

- ・齋藤源治郎(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・鈴木 佑弥(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・山内 美怜(創造工学科 機械コース 3年)
- ・保科 光琉(創造工学科 情報コース 2年)

●AMデザイン部門

テーマ『人と人が豊かにつながるものづくりPart2』

自然災害、紛争、食糧問題など様々な問題から「繋がる」を模索し、作り手の創意工夫と3Dプリンターの特性を活用し、「人と人の繋がりを豊かにし、人とモノの繋がりが広がるアイテム」を提案した作品を

表します。

【本校出場者】

「TSUMUGI」予選敗退

- ・池田 夢叶(創造工学科 情報コース 4年)
- 「ドミノ・ピアノ」予選敗退
- ・鈴木 康仙(創造工学科 情報コース 4年)

●ブレデザコン部門

テーマ『織りなせ!アイデアとデザイン』

ブレデザコンでは、高専の本科3年生までを対象とし、自由な発想を発表します。AMデザインフィールドに4作品を出品し、「創造の錦衣」が優秀賞を受賞しました。

【本校出場者】

「創造の錦衣」優秀賞

- ・鈴木 佑弥(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・佐藤 優愛(創造工学科 1年1組)

「織彩」

- ・山内 美怜(創造工学科 機械コース 3年)
- ・土井紗稀寧(創造工学科 情報コース 3年)
- ・長澤 摩耶(創造工学科 1年4組)

「Weave Tree」

- ・齋藤源治郎(創造工学科 化学・生物コース 3年)
- ・佐藤 和正(創造工学科 化学・生物コース 3年)

「創造のはじまり」

- ・齋藤 大晟(創造工学科 機械コース 2年)
- ・五十嵐哲平(創造工学科 電気・電子コース 2年)
- ・保科 光琉(創造工学科 情報コース 2年)



テクノ・パラメディック

本校サービス・デザイン部が主体となり行っている活動「テクノ・パラメディック」が、山形県の「2025 輝く県民活躍大賞 ジュニア・ユース部門」を受賞し、11月25日県庁において本年度授与式が行われました。

本賞は、社会貢献活動に対する県民の関心を高め、積極的な参画を促すとともに、県民が様々な分野で活躍できる風土づくりの推進を目的として贈られる賞で、本年度は7団体の受賞となりました。本活動に対しては、地域の活性化への貢献、県の産業発展のための優秀な人材の育成に期待がもてること、長年の継続的な活動などが評価され、今回の受賞に至りました。また、この他に本年度は、鶴岡市民憲章において「青少年実行顕彰実行賞」も受賞しました。

テクノ・パラメディックは、県内の離島「飛島」において、「日頃の学修を地域のために」をテーマに、現地での合宿形式により家電修理などを行う労働・技術力提供型のボランティア活動で、日頃の学習を基に、塩害、立地条件の厳しさ、超高齢化といった離島特有の課題解決を目指すものです。活動は島民の家電修理、環境保全活動として避難経路の枝打ちや倉庫の清掃、活動期間中の自炊など多岐にわたります。事前の酒田市との調整、島内での広報、修理依頼品の集約、そして活動終了報告までを行っています。また、今年は初めて長期留学生在が参加し、期間中、多くの学生と交流し、お互いに学び合うことで国際的な交流も行われました。

「この度、「2025輝く県民活躍大賞」および鶴岡市「青少年実行顕彰実行賞」を受賞できたことは非常にうれしく思います。本受賞は今年度のみならず、先輩方が積み上げてきてくださった努力、工夫、信頼があった

からこそ得られたものです。今年度は天候の関係で急遽1日早く戻ることになりましたが、その中でも、各班のメンバーとともに柔軟に活動できたことを誇りに思います。来年度の活動がさらに素晴らしいものとなるように、最大限の準備を進めています。」(統括:成澤想太(本科4年))

16周年を迎え、ますます進化するテクノ・パラメディックの活動に、皆さん引き続きご注目ください!

おわりに、本活動に対してご協力をいただいております酒田市とびしま総合センターの皆様、本年度の活動に御寄附をいただきました企業4社様、エンベデッドソリューション株式会社様、東北エプソン株式会社様、ニプロファーマ株式会社様、三木プーリー株式会社様をはじめ、関係者の皆様がこの場を借りてお礼申し上げます。



大会成績

●第60回全国高等専門学校体育大会

(上位入賞の団体および個人成績)

陸上競技

- 男子 3000mSC 3位 小島 知己 (4M)
- 女子走高跳 2位 伊藤 千代 (3B)

テニス

- 男子シングルス 3位 乙坂 柚稀 (3B)
- 女子シングルス 3位 渡邊 なな (3B)
- 女子ダブルス 3位 渡邊 なな (3B)
- 佐野友圭子 (3B)

●第62回東北地区高等専門学校体育大会

(上位入賞の団体および個人成績)

陸上競技

- 男子 1500m 3位 土岐 隼晴 (4E)
- 男子 5000m 2位 佐藤 旭 (2I)
- 男子 3000mSC 1位 小島 知己 (4M)
- 男子 4×100mR 2位

[小野 (4E)、菅原 (5I)、山木 (5M)、土田 (5E)]

男子 4×400mR 3位

[齋藤 (2M)、工藤 (1-2)、土岐 (4E)、菅原 (5I)]

男子走高跳 1位 工藤 響 (1-2)

女子 100m 2位 佐藤 祐奈 (1-2)

女子 4×100mR 2位

[三谷 (5E)、佐藤 (1-2)、岡部 (5I)、伊藤 (3B)]

女子走高跳 1位 伊藤 千代 (3B)

女子砲丸投 1位 三谷 双葉 (5E)

女子やり投 2位 三谷 双葉 (5E)

バドミントン

男子団体戦 1位

女子団体戦 3位

男子シングルス 1位 木村洸太郎 (3I)

2位 佐藤 倫嘉 (3M)

男子ダブルス 1位 木村洸太郎 (3I)

佐藤 倫嘉 (3M)

女子ダブルス 3位 佐々木愛莉 (2M)

志田 心愛 (2B)

ソフトテニス

男子団体戦 3位

柔道

男子個人戦 3位 島津 晃也 (5M)

3位 大類 崇太 (4B)

女子個人戦 2位 渡邊 奈南 (2M)

卓球

男子団体戦 1位

男子ダブルス 3位 石川 航大 (5E)

本間 稜久 (5E)

女子ダブルス 2位 三笠 美来 (5E)

齋藤 笑那 (1-1)

水泳

男子自由形 50m 3位 高橋 博雅 (3I)

男子自由形 50m 3位 上野 海星 (3B)

女子平泳ぎ 100m 1位 五十嵐まお (1-1)

女子バタフライ 100m 3位 五十嵐芽郁 (3B)

テニス

男子シングルス 1位 乙坂 柚稀 (3B)

女子シングルス 1位 渡邊 なな (3B)

3位 佐野友圭子 (3B)

女子ダブルス 1位 渡邊 なな (3B)

佐野友圭子 (3B)

剣道

男子団体戦 1位

女子団体戦 3位

男子個人戦 1位 滝澤 輝空 (3M)

女子個人戦 1位 本田 珈桜 (4B)

バスケットボール

男子 3位

●アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2025

東北地区大会

特別賞 (本田技研工業) 鶴岡高専Bチーム

●第22回全国高専デザインコンペティション

ブレデザコン部門 AM デザインフィールド

優秀賞 「創造の錦衣」

●第32回全国高等専門学校将棋大会

個人戦 3位 安在 康平 (4I)

各種資格取得等

技術士 第一次試験 (技術士補)

技術士とは、「科学技術に関する技術的専門知識と高等の応用能力及び豊富な実務経験を有し、公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた優れた技術者」を指し、その一次試験の合格は、4年制大学の自然科学系学部の専門教育課程修了と同等とし、5単位を認定する。

電気主任技術者・電気工事士

ともに国家資格で、法令上、電気工作物の維持や運用、保安の監督、工事作業に従事するために必要な資格。いずれも、本校指定の科目を修得することで一部試験が免除される (電気主任技術者は実務経験が必要)。

過去の合格実績

- ・技術士補 過去3年間で6名
- ・第二種電気工事士 過去3年間で45名
- ・第三種電気主任技術者 過去3年間で1名
- ・甲種危険物取扱者 過去3年間で4名

高専では低学年から高学年まで、研究をする機会に恵まれています
研究に果敢に取り組む学生の皆さんから熱いメッセージをいただきました

本科1年 デジタル・デザインコース
我妻 英知さん

◎ 研究テーマを教えてください

「デジタル技術を用いた水害対策」です。近年全国各地で水害が発生しており、鶴岡市でも大雨による被害が発生しています。そこで私はデジタル技術を用いて水害対策を改善できないかと考え、この取り組みを始めました。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

まだ研究を続けて一年も経っていませんが、鶴岡市役所の方々、野村総研の方々と関わることができ、貴重な体験をさせてもらっています。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

まだ人生15年目で、将来やりたいことは正直はっきり決まっています。ただ、今回の取り組みを通して、デジタル技術が防災や人の安全に役立つことを実感しました。今後も学びを深めながら、自分なりの進路を見つけていきたいと考えています。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

自分もまだ1年生で、偉そうなことは言えませんが、勉強を後回しにすると後で自分が一番困る、ということを実感しています。忙しい中でも少しずつ積み重ねておくと、テストや課題、やりたい活動に余裕が生まれます。完璧を目指さなくてもいいので、「今の自分にできること」を続けていくのが大事だと思います。



本科3年 化学・生物コース
鈴木 佑弥さん

◎ 研究テーマを教えてください

テーマは「鶴岡市大鳥地区に伝わる郷土料理“煎じきゅうり”の科学的解析」です。漬け汁を煎じてかけ戻す独自の製法に着目し、漬け汁のpH変化や含まれる菌の解析を通して、郷土の発酵食品を科学的な視点から解明することを目指しています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

継承者が減少する地元の食文化を、コンテストでの発表を通じて全国に発信できたことです。自分たちの研究が、地域の伝統や知恵を知ってもらえるきっかけになれたことに、大きなやりがいを感じました。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

卒業後は進学を検討中で、人々の生活を豊かにする研究・開発に携わりたいと考えています。その目標に向け、高専での学びを糧に日々精進していきます。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

高専は自ら一歩踏み出すことで、学外にも世界を広げられる素晴らしい場所です。日々の生活を楽しみつつ、将来や未知の世界に目を向ける「今、この時間」を大切に過ごしてほしいと考えています。



本科3年 化学・生物コース
今野 花音さん・菅野 和奏さん

◎ 研究テーマを教えてください

「外来種ブラックバスを付加価値のある肥料として活用する為の化学分析調査」というテーマで、白鷹町および鶴岡市の皆様と一緒に活動をしています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

各地で被害のある外来種ブラックバスを使用し肥料にできないか調べる研究なので、社会にある不満を少しでも減らすためのお手伝いできて嬉しいです。実験で学んだことの復習にもなり、記憶と経験を強固なものにできます。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

将来は生物に関わる仕事がしたいです。生き物の仕組みや環境との関りを研究し、その成果を人や自然のために役立てたいと思っています。生物の力でより良い未来をつくれるよう努力したいです。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

この研究では、身近にある困りごとを解決することを目的としています。日常生活で使っている知識、学校で学んだ専門知識の両方を使うことができ、新たな知識を増やせます。化学の力でさらなる進展や改善策を見つけ、社会に貢献してみませんか?



本科4年 電気・電子コース
金内 啓さん

◎ 研究テーマを教えてください

「Ureina」という防災情報発信・安否確認システムの開発をしています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

普段の学校生活では関わりのない行政の方や住民の方々と交流、市の防災訓練への出展などができ、コミュニケーション能力を鍛えることができたと思っています。またシステムの開発にあたっては、液晶テレビを自動で起動・制御する技術やリモコンの赤外線を用いてシステムを操作するなど、身近なものの裏で動作している技術を詳しく知ることができました。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

卒業後は通信関係の仕事に就きたいです。通信はこの世界で欠かさないコミュニケーション手段であるため、これを断たないように緑の下の力持ちのような形で社会に貢献できればと思っています。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

自分が少しでも興味があることに思い切って挑戦してみることをおすすめします。学生時代にしかできないことがいっぱいあるので残りの時間でいろいろなことに挑戦してみましょう。



専攻科2年 機械・制御コース
荒生 光希さん 小野寺研究室

◎ 研究テーマを教えてください

研究テーマは、「車いす用移乗補助装置の提案と評価」です。私の研究では、車いすに着目し、現在お使いの車いすに後から取り付けることで、フットレストを収納する負担と、介助者が利用者を持ち上げる負担の2つを同時に軽減することのできる移乗補助装置の開発を行っています。そして、介助者の筋負担を筋電計測に基づいて評価し、装置の検証および身体的負担の軽減に向けた改良を進めています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

研究を通して、既存の機器や手法から課題点を見だし、それに対して自分がこれまで高専で培った知識や技術を応用することで、その価値を高める新しい物品の設計・試作を行うという、エンジニアリングデザインの力を養うことができました。また、自分で考えた物品を3DCADで形にし、図面化および実際に製作するまでの一連のものづくりを経験できたことも、大きな学びになりました。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

将来は、現在の研究内容とは異なる分野になりますが、生産現場の自動化や高度化を支える技術に携わりたいと考えています。

これまで高専で学んだ専門知識や、研究活動を通して身につけた課題発見・解決力を基盤に、制御やロボティクスなどの最新技術を積極的に吸収し、現場の生産性向上と企業の持続的な成長に貢献できるプロフェッショナルになりたいです。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

高専生の強みは、理論を理解するだけでなく、それらを基盤として実社会の課題解決に応用できる能力だと思います。その強みを武器に、これから多くのことを学んでいってください!



専攻科2年 電気電子・情報コース
高橋 橋真さん IT/メカトロ研究室 (大西研究室)

◎ 研究テーマを教えてください

材料科学では、物性解析や新材料設計にシミュレーションが不可欠です。しかし、電子同士の相互作用が強い物質では、系のサイズが大きくなるほど計算量が指数関数的に増え、従来手法では解析が困難になります。そこで私は、量子コンピュータを活用し、物質のエネルギー状態の変化(励起)などをより効率的に求める計算手法の確立に取り組んでいます。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

研究を進めていく過程で、粘り強さと柔軟さを鍛えられたことです。研究室で初めてこのテーマに取り組み、実行環境の構築から整備したことで、課題を自分で切り分けて前に進める力が身につきました。結果が合わない原因を探し、丁寧に検証を繰り返すことで粘り強さと柔軟さを鍛えました。また、途中経過を記録して見える化することで、堅実な研究の進め方も学べました。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

将来は大学院に進学し、研究を通して培った力をさらに伸ばして専門性を高め、技術者として成長したいと考えています。その上で、論理的に考え抜く姿勢を大切に、身につけた知識と開発経験を活かして、社会や産業の課題を解決できる技術者になりたいです。また、急速に変化するIT技術に対応できるように学び続け、現場で価値を生み出せるエンジニアを目指します。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

高専では、行動した人ほどよく伸びると思います。待っているだけでは何も身につけません。自分から挑戦し、失敗も経験に変えてください。残りの学生生活を楽しんでください。



専攻科1年 電気電子・情報コース
阿部 蓮司さん 高橋研究室

◎ 研究テーマを教えてください

ITやIoT技術は社会の様々な分野で活用が進んでいますが、初学者や非情報系の学習者にとっては、IoTシステムの仕組みを理解することは容易ではありません。そこで私は、短時間でIoTの基本的な概念やセンサ動作を体験できる教育用IoTデバイスの開発を行っています。ビジュアルプログラミングやQRコードを用いた操作により、センサなどの役割を直感的に理解できる学習環境の構築を目指しています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

研究活動を通して、課題に対して粘り強く取り組む姿勢と、問題を細部まで分解し論理的に考える思考力が身についたと感じています。システムの設計や実装の過程では、想定通りに動作しない場面も多くありましたが、その都度原因を分析し、試行錯誤を重ねて改善図ってきました。こうした経験を積み重ねることで、自身の成長を実感できる貴重な機会となりました。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

将来は、情報技術とものづくりを組み合わせて、利用者にとって分かりやすく価値のあるシステムの開発に携わりたいと考えています。本研究で取り組んだ教育用IoTデバイスの開発を通して、技術そのものだけでなく、使う人の立場を意識した設計の重要性を学びました。今後は、こうした視点を活かし、社会課題の解決に貢献できるエンジニアを目指していきたいです。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

高専生活では、授業や研究を通して専門知識を深めるだけでなく、自ら考え行動する姿勢が重要だと思います。さまざまなことに挑戦し、有意義な学生生活を送ってください。



専攻科2年 応用化学コース
長谷川 琴末さん 高分子材料研究室 (佐藤司研究室)

◎ 研究テーマを教えてください

私は地元の養蚕企業と苧蓆加工会社と協力し、絹に含まれるタンパク質のシルクフィブロイン(SF)と苧蓆に多く含まれる多糖類のグルコマンナン(GM)を用いた新規金属吸着剤の調製と評価を行っています。金属イオン吸着特性のあるSFに対し、強度向上効果を有するGMを複合することで、簡便で環境負荷の少ない吸着剤を作製し、産業廃棄物の削減と綺麗な水環境の実現に貢献することを目指しています。

◎ 研究を続けて良かったことは何ですか?

研究を続ける中で、計画立案から実験、結果の考察まで一連の流れを主体的に進められるようになり、自分の成長を強く実感しました。失敗や試行錯誤を重ねることで問題解決力や粘り強さが培われ、さらに学内外の研究発表会への参加を通じて、コミュニケーション能力や表現力といった伝える力を身につけることができました。これらの経験が将来に向けた自信にもつながっています。

◎ 将来どんなことをしたいですか?

将来は環境を保全しつつ技術革新を促進できる研究者を目指しています。そのため来春からは大学院で環境工学、特に原子力発電に関する知識を深め研究を続ける予定です。高専で培った環境科学や高分子材料の知識を活かし、国際的な視野を養うと同時に地域社会の課題にも寄り添える人材へと成長したいと考えています。

◎ 現役高専生に一言メッセージ

5年間の貴重な時間をどう過ごすかが大切です。勉強だけでなく、興味を持ったことには失敗を恐れず挑戦してください。そして、自分らしい楽しみを見つけてもらえたら嬉しいです。



Regional Partnership Activities 地域連携活動

地域連携センターの活動記録

地域連携センターでは、本校教員や技術職員による専門的研究を礎に「共同研究・研究協力・技術支援等」の活動を行っています。また、地域の活性化や人材育成などを目的としたセミナーや講座を開催し、地域への「啓発活動」として働きかけております。さらに、学外での出張授業、訪問実験、企業支援講座なども実施し、地域企業や教育機関などのあらゆる「社会的要請」に応えております。

鶴岡高専シーズ集(研究者紹介)の発行

研究シーズ集は、本校で教育研究活動を行う全教員・技術職員の教育研究分野を簡潔に紹介する冊子です。学外の方々に対して本校の技術シーズを紹介するために、毎年発行しています。地域のニーズと高専シーズのマッチングを担う研究者・技術者のPR誌です。
※本校ホームページにも冊子のPDFデータを掲載しております。



2025年度シーズ集(表紙)

技術相談の実施

「技術相談」とは、高専の教員・技術職員が民間企業をはじめとする外部機関からの研究・開発上の相談に応じて情報提供を行い、技術的な支援を行うものです。

この技術相談の実施内容が、共同研究や受託研究へ発展する事例も多く、本校が外部機関に対して行う研究協力の基盤的な活動ともいえます。

今年度は12月現在で6件の技術相談を受け、本校の様々な分野の教員・技術職員が助言や試験、分析などを行い、技術的課題の解決に貢献しました。

市民サロンの開催



市民サロン第1講(9月)の様子

市民サロンは、鶴岡高専技術振興会との共催により、地域研究機関の研究者・技術者および本校教員による専門分野の最新情報を市民の皆様がわかりやすく提供する市民講座で、今年度は全2回開催しました。1回目(9月)は「地域コミュニティ

の多様性とイノベーション」をテーマに、映画『花束』監督サヘル・ローズ様と本校倉田かりん助教より講演いただきました。2回目(11月)は「鶴岡サイエンスパークで鶴岡高専卒業生を深ボリ!」をテーマに、鶴岡サイエンスパークの企業で働く本校の卒業生による講演とパネルディスカッションがありました。今年度は、映画『花束』が鶴岡まちなかキネマで上映されたこと、鶴岡サイエンスパークで本校の卒業生が活躍していることにちなんだ内容でそれぞれ開催し、多くの皆様にご参加いただきました。



市民サロン第2講(11月)の様子

産業技術フォーラムの開催

産業技術フォーラムは、鶴岡高専技術振興会との共催により、全国各地から専門家や有識者をお招きし、地域企業の研究者・技術者の皆様へ専門分野の最先端技術や研究・開発などに関する有益な情報を提供することを目的として毎年開催しております。今年度は8月に合同会社ハイドロパワー 代表社員 金内剛様を講師としてお招きし、「小水力発電事業化の可能性 一鳥海貝沢発電所の事例」と題してご講演いただきました。



第61回産業技術フォーラム(8月)の様子

つるおか大産業まつりへの出展

10月18日(土)~19日(日)の2日間、鶴岡市小真木原公園(朝陽武道館)において、つるおか大産業まつり2025が開催され、本校から合計3コースが出展しました。

機械コースからは「ライトレースロボットで遊ぼう」、電気・電子コースからは「電気を作って、電気で遊ぼう!!」、化学・生物コースからは「カラフルスライム作りにチャレンジ!」をテーマに、それぞれ出展しました。

今年は天候に恵まれなかった時間帯もありましたが、本校のブースには、子どもたちを中心とした多くの家族連れが絶え間なく訪れ、歓声をあげながらブースでの体験を楽しんでいました。子どもたちに理科の面白さを伝えることができる絶好の機会となりました。



化学・生物コースのブースの様子

30年続く STEAM 教育活動

化学・生物コースによる「訪問実験」

本校化学・生物コースでは、1995年より「訪問実験」を継続して実施しており、本年度で30年目を迎えました。本活動は化学・生物コースの有志教員を中心に行っており、本年度は11名が参加しました(教員:上條、南、佐藤(司)、森永、斎藤、八須、久保、松浦、丸山 技術職員:矢作 技術補佐員:佐藤(千))。

本活動は、週休2日制導入による小中学校の理科授業時間の減少や、「理科離れ」「理工系離れ」といった課題を背景に、子どもたちに理科への関心を持たせることを目的として始めました。当初は「お楽しみ化学実験」を中心としていましたが、現在は身近な科学現象を題材に、実験を通してその仕組みを理解するSTEAM教育活動として展開しています。

本年度は、県内の小中学校から延べ16件、計1037名の児童・生徒を対象に実施しました。尾花沢大石田少年少女発明クラブでは、専攻科2年生の松田千佳さんが学生講師として参加し、参加者目線での説明が好評を得ました。さらに今年度は、山形市内の中学校理科教員約60名を対象に、中学校理科教育指導上の課題を踏まえた実験を4テーマ実施しました。現在、訪問実験では10テーマ以上を用意しており、毎年6月に本校ホームページで募集しています。最後に、本活動をご支援いただいている日本化学会東北支部に感謝申し上げます。



左:中学校教員に向けての実験の様子 講師丸山先生
右:学生講師(松田さん)の様子

科学フェスタの開催

11月15日(土)に、「親子で楽しむ科学フェスタ2025」を開催しました。このイベントは、理科離れ対策の一環として、子どもたちに保護者の方と一緒に、科学のふしぎやものづくりの楽しさに触れてもらうことを目的とし、今回で26回目の開催となりました。

イベントは、未就学児や小中学生その保護者が対象で、コロナ禍以降初めて、事前申込・人数制限なしでの開催となり、約600名の方々に来場いただきました。

当日は、多彩な16の体験ブースと特別企画「紙ひこうきを作って遠くまで飛ばそう!」で来場者の皆様をお迎えしました。

- ・風に向かって走る車
- ・電気の広がり方を見てみよう
- ・DNAストラップをつくろう!

・のび〜る♡スライムをつくろう☆

・ペットボトル・バズーカ工房! ほかに11ブース

体験ブースでは、お父さんと保護者の方が一緒になって楽しそうにものづくりや実験に取り組む姿が見受けられ、教職員や補助学生との交流も楽しんでおりました。特別企画では、紙ひこうきを飛ばすたびに歓声が上がり、保護者の方々も一緒に楽しんでいる様子でした。

また、体験ブースを巡るシールラリーも好評で、多くのお父さんが夢中になって取り組んでいる様子で、帰りの際やアンケートでは「楽しかった!」「また来たい!」というお声を多数いただきました。

ご来場いただいた皆様に御礼を申し上げますとともに、また皆様の笑顔に会えることを楽しみにしております。



左:風に向かって走る車
右:カラフルなビーズ作り〜人工イクラを作る実験〜

ものづくり訪問実験「科学で遊ぶ」などの開催

11月15日(土)に三川町子育て交流施設テオトルを会場として「あ不思議!うまれる電気、つながる電気」を開催し、小学生40名が参加しました。今回の講座では、はじめに果物やパンなど食品をもちいても電気を発生することを体験しました。LEDが光ったり電子オルゴールの音が鳴ると、電池という仕組みにとっても興味を持った様子でした。次に様々な電子部品を使用して、異なる色のLEDがピカピカと光る装置を製作しました。個性があふれる作品ができ関心を寄せていました。

令和8年2月7日(土)には藤島地区地域活動センターを会場として「簡易地震感知 LED ライトを作ってみよう!」を開催しました。藤島地区の小学生約15名が参加しました。スイッチには様々なものがあることを知ってもらいたいと思い、当講座では振動(傾斜)スイッチを使用しました。

本校教育研究技術支援センターでは、ものづくり講座開催についての募集をしています。地域の子どものものづくりへの興味向上に繋がれば嬉しいと考えていますので、ご興味があれば遠慮なくご連絡ください。



三川町での講座の様子(11月15日)

鶴岡高専では、卒業後の進路選択のために、幅広い情報を得ることができる場を設けています
1年生からのキャリア支援について紹介します

総合工学キャリアプラン

本校の問題解決型学習（PBL）科目「総合工学」では、特色ある取り組みとしてキャリアプラン活動を展開しています。本活動では、2年生と4年生の計4名で構成されるチームが企業取材を行い、取材内容をもとにポスターを制作します。4年生がリーダーとして後輩を支えながら作業を進めることで、実社会に近い協働体験を得られることが大きな特徴です。

今年度もメディア総研株式会社の運営協力のもと、多様な業種から合計60社にご参加いただきました。参加企業には、ポスター制作途中での添削指導や最終発表会での審査など、多方面から学生をご支援いただきました。

取り組み開始から7年目を迎えた今年は、本校卒業生が企業担当者として関わる例も増えており、在校生と卒業生の交流の場としての広がりも期待されています。



総合工学 キャリアプランの企業インタビューの様子

企業研究セミナー

12月6日(土)に本校第一体育館にて、企業研究セミナーを開催いたしました。（主催：鶴岡工業高等専門学校・山形県新企業懇話会、後援：鶴岡高専技術振興会）

本セミナーは、各業界の状況や事業内容、仕事のあり方について学び、企業への理解を深めることを目的として開催するものです。

午前の部は、山形県新企業懇話会と鶴岡高専技術振興会の会員80社、午後の部は、過去3年における本校卒業生・修了生の就職先企業をメインとした80社の計160社に参加いただきました。

当日出席した学生は各ブースで企業概要や業務内容、福利厚生について説明を受けました。熱心にメモをとり積極的に質問する様子が見られました。

来年度、卒業・修了を迎える学生にとっては、将来の進路を考える時期にあり、就職活動が本格化する前に自己分析や情報収集を行う必要があります。本セミナーの開催により、多くの企業について理解を深めるとともに、今後のキャ

リアビジョンを描ききっかけとなったのではないかと思います。

ご協力くださいました企業の皆様、関係各位に厚く御礼申し上げます。



CO-OP教育

CO-OP教育とは、教育機関が企業と連携して進める人材育成の新たな取り組みである長期就業体験学習です。学生が「校内での講義」と「企業での就業」を繰り返すことで、実践的な技術や開発力、コミュニケーション能力など、総合的な就業能力の向上を図ります。令和7年度夏季休業期間は、県内外5社へ10名が参加しおよそ2週間の実習に取り組みました。

学生のプレゼン能力向上およびCO-OP教育プログラムのさらなる改善を図るため、受け入れ企業の皆様や参加学生の保護者を招き、参加学生による成果報告会および企業・保護者の皆様との懇談会を12月19日(金)に実施しました。受け入れ企業の担当者などが参加する中、発表者は緊張しながらも学んだことなどをポスター形式で発表し、聴講者からの質問に一生懸命答えました。懇談会では学生の取り組み姿勢や本校の対応などについて各企業・保護者の方からご意見・ご感想をいただき、企業・保護者の方から見たCO-OP教育を知る貴重な時間となりました。



海外派遣プログラム

2024年度

2024年度は、フランス等の協定校への研究派遣に3名が参加し、研究室での研究活動や現地学生との文化交流などを行いました。また、5年ぶりに再開したニュージーランドへの研修派遣や、昨年に引き続き台湾スタディツアーも実施し、年間60名の学生が海外での学びを経験しました。

プログラム	国・地域	人数
スタディツアー	台湾	8
研修派遣	マレーシア、シンガポール、ニュージーランド	44
研究派遣	フランス、ベトナム、シンガポール	3
他	ラトビア、台湾、ベトナム、タイ	5

体験談

化学・生物コース4年 富士原 魁晟

春休みの2週間を使ってシンガポールに行ってきました。よく、留学しようか迷っている人の悩みで「話す自信がない」という不安が挙げられますが、現地の協



シンガポール協定校の学生と共に

定校の皆さんはそれをわかった上で接してくれるので、その心配はいらないと思いましたし、そんなことを考えている暇がないくらい楽しいと思います。実際、英語の文学的な学びもありましたが、英語を話す時の特徴や日本語との違い、宗教的な面で学びを感じる事が多かったです。

留学説明会・報告会

2025年度

5月に全学年を対象とした留学説明会を実施しました。海外に関心のある学生が大勢参加し、留学プログラムの説明に熱心に耳を傾けていました。説明会



留学説明会の様子

後、昨年度の派遣プログラム参加学生によるポスター報告会も実施し、留学に関する不安な点など様々な質問が飛び交いました。

短期留学生受入(フランス・タイ) 2025年度

4月から7月まで、フランスおよびタイの協定校から2名の短期留学生を受入しました。留学生らは本校学生と共に寮で生活し、研究室で研究活動に従事し



短期留学生の成果発表会にて

ました。同じ研究室の学生をはじめ、多くの学生が短期留学生との交流を楽しむとともに、異文化理解を深めるよい機会となっています。

海外派遣プログラム

2025年度

2025年度は、新規開拓により新たな派遣先が加わり、以前よりも多くの学生が研究派遣プログラムに参加しています。夏季休業中には、今年度新たに



ベトナム留学中の一コマ

ニュージーランドでの企業インターンシップ派遣も実施し、4・5年生の学生3名が海外企業での就業体験を行いました。春季休業中には、シンガポール協定校への研修派遣に加え、新たに協定締結したニュージーランド協定校での語学研修も予定しており、参加学生からは期待に胸を膨らませながら留学に向けて準備を進めています。

プログラム	国・地域	人数*
インターン	ニュージーランド	3
研修派遣	シンガポール、ニュージーランド、タイ、フィンランド	50
研究派遣	マレーシア、ベトナム、タイ、シンガポール	11

*春季派遣プログラム参加予定学生含む

体験談

化学・生物コース4年 佐藤 凜采

私は Whanganui の Karetu honey でインターンを行い、主にハンドクリームを作る新商品開発をしました。動物が多く生息する



インターンシップ中の一コマ

ニュージーランドは環境意識が高く、街の大きな川にはゴミ一つ流れない綺麗な街でした。たくさんのサポートをしてもらい不安を感じることもなく過ごし、たくさんの人に支えられて生活できることを実感した1ヶ月間でした。

留学生より一言

化学・生物コース5年 アレハンドラ



鶴岡に来てから、多くの貴重な経験ができました。1年目は大変でしたが、チューターとクラスメイトがとても親切で助けられました。毎週研究室へ行くのを楽しみにしていました。しかし、実験を行うということは、レポートを書かなければならないという意味でもありました。

学業での経験はもちろん大切ですが、外国人としてこの地に来て一番よかったのは、異文化に触れながら雪深い冬を体験できたことです。

Campus Life Memories



若かりしあの頃



気合い入れて行くぞ



ガチ応援



最強のふたり



駅伝での勝利



陸上部(女子)!



小顔効果



good leather



結構仲いいですよ?



スタンド使い



駅伝メンバー



ギョー特戦隊



大活躍!



挑戦者参上!



鏡がきれい



ポケモンゲットだぜ



みんなで中華



楽しそうに調理中



MIIZE : マイズ



指ハート

学生会総会

今年度の学生会としての初めての行事は、5月14日に行われた学生会総会でした。前年度決算や今年度予算案、部活動の休部・廃部など、様々なことについて審議を行いました。



校内体育大会

5月21日に行われた校内体育大会では、早期敗退した学生も体を動かしながら楽しめるように、学生会企画として気配斬りを実施し多くの学生に武道館へ足を運んでいただきました。

参加賞をお菓子とし、勝てばお菓子2倍というルールで行われ、1対1や複数人で一斉に対戦など様々な形式が取り入れられ、その分面白い展開がたくさん見られました。



七夕企画

7月4日～7月14日の11日間に、学生交流ラウンジに飾りつけをした笹を2本設置し、学生にお願いごとを自由に書いてもらうという内容で実施しました。

笹は、ホームページに写真を掲載する用の笹と、好きなことを書いていい笹に分けての実施となりました。本企画では、成績に関するお願いごとや、高専大会前ということもあり全国出場へのお願いなど、多くの学生から様々なお願いを笹に綴っていただきました。



高専祭

10月24日、25日に開催された高専祭では、全校生が主体となって楽しめるよう、クラス企画や模擬店を実施し学生だけでなく保護者の皆様、地域の皆様など多くの方々にご参加いただき、金券販売が一時制限されるほどの大盛況となりました。

さらに、ステージではカラオケ大会やダンス大会など、学年問わず参加が可能な企画が多く開催され、そのほかにも軽音部によるライブが行われ、学生によって歓声が沸き上がっていました。また、新たな試みとして行われた借り物競争では、1年生のクラスが優勝する波乱の展開もありました。



高校生対話会

12月11日には、地元大学生と少年補導員の方を鶴岡高専にお招きし、高校生対話会を行いました。

この対話会は、コミュニケーション力を高めることをテーマとし、①SNS被害について②人間関係構築について③ルールを守るためには、についてグループに分かれて話し合いました。年齢が離れる者同士の、価値観や経験したことによる意見の違いに、今後の生活において大切にすべきことなどを学びました。



(学生会会長 化学・生物コース4年 大類崇太)

肝試し企画 ～勇気を試す一夜～

今年度の寮で行われたイベントの1つとして、肝試し企画が実施されました。当日は、真夏の暑さを吹き飛ばすために63グループ、149人と多くの寮生に足を運んでいただきました。

普段は体育の授業や部活動で使用されるグラウンドが、この日ばかりは少し不気味な雰囲気に包まれ、参加した寮生は緊張した面持ちでスタートをしました。グラウンド内では、コスプレや着ぐるみ姿のリーダー寮生が待ち構え、次々に来る寮生を全力で驚かせており、暗闇で現れる様々なキャラクターに驚きの声や笑い声上がり、会場は大いに盛り上がりました。

ゴール後には、怖さを乗り越えた達成感とともに、自然と会話も弾み、グループごとに深い交流が生まれていました。参加した寮生にとって忘れられない思い出となる企画になったと思います。



寮祭 ～笑顔と活気に包まれた一日～

今年度の寮祭では、前年度から模擬店の場所を変更し、ステージ企画も外ではなく第二体育館内で行うなど、初めての体制での実施となりましたが、当日は寮生や保護者の皆様、地域の皆様など多くの方々にご参加いただきました。

模擬店では、各部活の寮生を中心に、女子寮生やリーダー寮生、さらには寮生ボランティアの方々に参加していただき、多種多様な模擬店が出店しました。今年度は例年の女子寮のパフェを抑えてバレー部のたこ焼きが最も人気を博し、おいしいたこ焼きで、少し冷え始めた秋の風にあたる体を温め、その味に舌鼓を打っていました。

ステージ企画では、叩いて被ってじゃんけんやラムネ早飲み、腕相撲大会、そして毎年恒例のビンゴ大会が行われました。その他にも、リーダー寮生が4年寮生会や1、2年指導寮生などのグループごとに分かれ、クイズ大会やダンスなどの個性ある余興をし、寮生を笑顔にしていました。結果としては、どの企画にも多くの寮生に参加していただき、白熱した接戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

今年度の寮祭は、笑顔で企画や模擬店を楽しむ姿が多く見られ、学年やコースの垣根を超えた交流が広がっていました。



寮生会より

今回紹介させていただいたイベントの他にも、寮では様々な楽しい行事を年間通して行っています。

寮だからこそできる友達との深い交流や、その中で作られる楽しい思い出が寮生活の醍醐味です。そんな思い出が多く作られるようにリーダー寮生一丸となって努力してまいりました。

この仕事をやって良かったと胸を張って言えるように残りの任期も責任をもって取り組んでいきます。



(寮生会文化委員長 化学・生物コース4年 大類崇太)

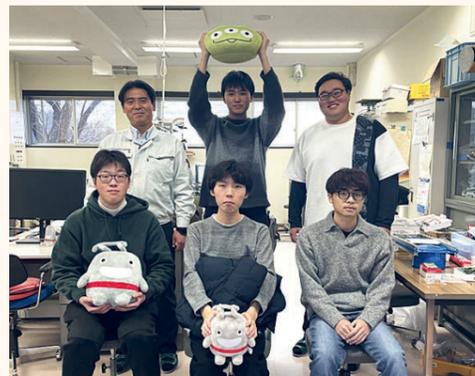
機械コース

Mechanical Engineering

矢吹研究室

[指導教員] 矢吹 益久
[技術職員] 遠田 明広、佐藤 大輔、木村 英人、佐藤 真人
[5年生] 池田 立、遠藤 拓、佐藤 洸杜、菅原 拓真、成澤 亜廉
[研究テーマ]
 ● 水田の給排水装置の改良
 ● ダイアフラム型真空ポンプの作成
 ● マシニングセンタにおけるねじ下穴加工時の無人切りくず除去

機械科で一番まじめで一番賢く、一番誠実な研究室です。一回外に出ないといけない研究室ですが、いい意味で隔離されています。



福祉・医用デバイス研究室



[指導教員] 宍戸 道明
[技術職員] 木村 英人、遠田 明広
[5年生] 小野寺 裡皇、津田 匠磨、今 耕介
[専攻科生] 伊藤 駿、泉屋 琉奈、高田 遥菜
[研究テーマ]
 ● ゴミの研究(天然由来廃棄物の工業化・再資源化)
 ● ロボットの研究(福祉機器やアミューズメント機器の開発)
 ● ところみの研究(福祉機器の開発・食品の性質調査)
 ● 超能力の研究(脳波、バイタルセンシングなど)

#2免追うもの2免Get! #本気で遊べ #指導教員最強説
 #漆黒ブラック #ボウリングスコア研究室最高水準

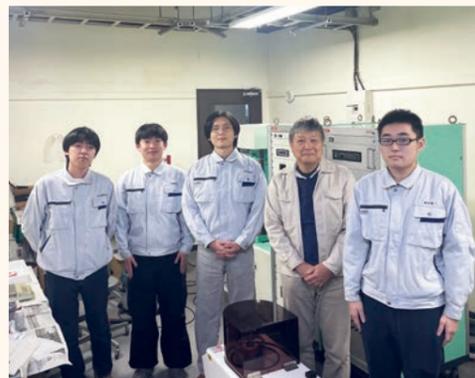
ロボメカ研究室(2)

[指導教員] 小野寺 良二
[5年生] 渡會 柚月、和賀 柚希、佐藤 桜祐、木村 日向葵
[専攻科生] 佐藤 竜翔、村上 隼斗、荒生 光希、五十嵐 虹汰、伊藤 和奏
[研究テーマ]
 ● 介助負担を軽減する車いす用移乗補助装置の提案と評価
 ● 握力低下を考慮したハンドル形状の機能性評価
 ● 車いす用トレッドミルの実走行再現に向けた改良と検証

私たちの研究室に配属された暁には、週1のミーティングで手厚い研究のサポート、面倒見がいい先輩がついてきます。やる気のある学生はぜひ小野寺研へ!



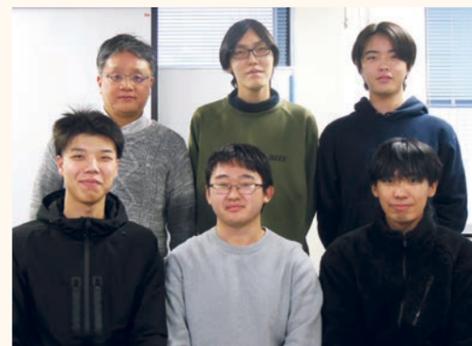
機械材料研究室



[指導教員] 五十嵐 幸徳
[5年生] 五十嵐 洵也、石垣 光一、佐藤 陽生、水戸部 史哉
[研究テーマ]
 ● MAX相セラミックスの創製
 ● 四元系シリサイドの創製

当研究室では機械材料開発を目的とし、共同研究をしています。課題に対する具体的な解決策を追求、試行し、社会的に意義のある材料開発に貢献することを目指して活動しています。

ロボメカ研究室(1)



[指導教員] 佐々木 裕之
[5年生] 斎藤 実、佐藤 拓充、佐藤 天、田中 良空、富樫 奎吾
[研究テーマ]
 ● メカナムホイールの千鳥タイプの車輪配置と制御
 ● ミニロボットのプログラミング
 ● 光反射型エンコーダの性能の評価
 ● 赤PIC制御ボードのPID制御パラメータの設計
 ● ジャイロセンサL3G4200Dの誤差補正と評価

佐々木研究室です。インターハイ狙ってます。

機能性表面研究室

[指導教員] 荒船 博之 **[技術補佐員]** 鈴木 綾乃
[5年生] 鈴木 大登、仲野 宏美、名古屋 颯大、山木 朋哉、峯田 将吾、金山 創 **[専攻科生]** 今野 颯汰
[研究テーマ]
 ● 可逆結合を有する高強度ゲルの創製と機能評価
 ● マルチカラー蛍光を利用したポリマー摩耗の可視化
 ● 船舶表面へのポリマーコートによる流体抵抗低減と防汚化
 ● フォースプレートを活用した筆記具の書き味の定量化
 ● 低摩擦微粒子+表面テクスチャ複合界面の機能評価 など

ホワイトー!(研究室)君が、未来に向かって1歩でも進もうとしている限り、無駄なことなんて断じて無い! 荒船先生はまだ諦めてない!なのに、君が就職や研究を諦めているのか! -血界戦線より一部抜粋



トライボロジー研究室



[指導教員] 和田 真人
[5年生] 阿部 蒼空、遠藤 幹太、奥山 亘大、島津 晃也
[研究テーマ]
 ● ハイドロゲル3Dプリントに関する研究
 ● ソフトロボティクス
 ● ソフトメカニクス
 ● 形状記憶ゲルを用いた冷却固定具

ソフトマテリアルと3Dプリンティングを用いた研究室です。研究、日頃の学習や進路相談など様々な相談OKです。デジタルものづくりの相談受け付けます。

MEMS研究室

[指導教員] 徐 嘉樂
[5年生] 宮本 悠斗、山崎 孝太郎
[研究テーマ]
 触感の定量評価、点字ディスプレイの開発

MEMS技術を用いたアクチュエータおよびセンサの開発を行っています。デバイスの設計、作製および評価に加え、装置の立ち上げなども行っています。



環境エネルギー研究室



[指導教員] 遠藤 大希
[5年生] 本間 想、阿部 直斗
[研究テーマ]
 空中風力発電用発電車両の開発

我々の空中風力発電は、風上げ用の風の紐に生じる力を利用して発電車両を牽引し、発電を行う方式です。卒業研究では、発電車両(3輪EV)の開発およびその制御機器の開発に取り組んでいます。

Introducing students, staff, research themes, features of labs.

電気・電子コース

Electrical and Electronic Engineering

渡部研究室

【指導教員】渡部 誠二 【5年生】原田 桜雅、渡部 楓刀、樋渡 悠真、阿曾 銀河
【研究テーマ】

- 若年層の情報リテラシー向上を目的としたapiニュース取得によるAIニュース好悪材料分析システムの研究
- 分離音源を用いた音声解析
- パーティクルフィルタとYOLOv8を用いた対象の存在および異常行動検出の研究
- AIによる教材自動生成と「視覚的提示の最適化が小学生の問題解決行動に与える影響

まっているよ アットホームな研究室です
皆楽しく研究してます グーグルブロッコリー



宝賀研究室



【指導教員】宝賀 剛
【5年生】佐藤 迅、菅井 瑛太、富樫 誠実、渡部 陽
【専攻科生】石垣 遥都
【研究テーマ】

- 松枯れ防止装置の自動制御および遠隔監視システムの開発
- YBCO超電導材料における硝酸銀添加による特性の検討
- TiO2薄膜を用いた色素増感太陽電池の作製と評価
- 無電解めっき法による酸化亜鉛薄膜の作製および評価

学生から人気の研究室です。様々な研究を行っており、自分のしたいことを研究できます。

神田研究室

【指導教員】神田 和也
【5年生】阿部 裕太、石川 海成、石川 航大、下田 耀斗、中山 真一郎
【研究テーマ】

- 転倒マス式雨量計の精度の向上
- 土壌センサの精度比較
- サーバーの構築
- 音声の韻律特徴を用いた感情同期型アバタ
- センサ計測データの誤差補正

研究室には様々な機械や本があり、自分がしたい研究ができます。



内山・佐藤(智)研究室



【指導教員】内山 潔、佐藤 智也
【5年生】佐久間 裕基、佐藤 颯、鹿野 敬介、矢作 誠司、渡部 夏音
【研究テーマ】

- 固体酸化型燃料電池の低温作動に向けた研究
- 薄膜トランジスタの高性能化に向けた高誘電体材料の開発

この研究室に足を踏み入れると、「僕と契約して、魔法少女になってよ!」という幻聴が聞こえます。そうです。燃料電池すなわち現代の魔法なのです。魔法少女に憧れている皆さん、一緒に戦いましょう。
～内山・佐藤(智)研究室は、あなたのがんばりを応援します～

森谷研究室

【指導教員】森谷 克彦 【5年生】相沢 春玖、五十嵐 綾人、加藤 太一、本間 稜久
【専攻科生】阿部 陸人、石黒 智基、三浦 綾
【研究テーマ】

- 環境調和型薄膜太陽電池に関する研究
- 新規透明p型半導体の研究 ●透明薄膜太陽電池に関する研究
- ZnOナノロッドを用いた新規構造太陽電池の研究

「環境にやさしい太陽電池を安く簡単に作る」をモットーに研究活動を行っています。学生による学会発表、論文投稿にも盛んに取り組み、今年度は新潟、福井、横須賀などで発表を行いました。来年度は札幌に行くことが決まっています。学会発表とともに現地の文化に触れたいです。



保科研究室



【指導教員】保科 紳一郎
【5年生】石川 由憇、佐藤 大翔、土田 陸玖、三笠 美来
【研究テーマ】

- 静電容量式水位計の試作
- 厳冬期の蔵王山頂における画像システムの開発
- FD-TD法による電磁気計測
- 雪の通気計測の改良

センサーとマイコンを用いて、IoT機器をより使いやすく安価にする研究や雪に関する研究、電磁気計測など様々なことにチャレンジできる研究室です。どんな生徒にも分け隔てなく接してくれる優しい先生なので、相談しやすく自分のしたいことがしやすい環境です。

タン研究室

【指導教員】TRAN HUU THANG
【5年生】石垣 颯香、石沢 悠翔、石塚 大智、藤田 隼大
【研究テーマ】

- 送電線のバックフラッシュオーバ
- 配電線における誘導電圧
- 雷時における電磁界解析

自分のペースで研究ができる楽しい研究室です！ 電力会社などのインフラ業界へのOBが多数います！ プログラミングや焼肉に興味がある人はぜひ!!!



田中研究室



【指導教員】田中 勝
【5年生】猪俣 旭希、大瀧 康輔、白幡 皇耀、三谷 双葉
【研究テーマ】

- 松枯れ防止対策としてファンクションジェネレーター(FG)を用いた周波数のセンチュウ及び松の苗木への影響に関する研究
- 超高真空分析装置の立ち上げに関する研究
- 四重極質量分析装置(QMS)を用いたSi(100)表面上の分子の挙動に関する研究
- 金属薄膜作成用スパッタ装置の立ち上げに関する研究

半導体、材料、真空、分析、松枯れ等に興味のある学生の皆さん、一緒に研究しましょう。新機能、新分析手法の開拓を目指します。

櫻庭研究室

【指導教員】櫻庭 崇紘
【5年生】佐藤 将多、高木 佑哉
【専攻科生】小野寺 壺成
【研究テーマ】

- 制御ロボットを活用したプログラミング体験の検証
- 画像識別AIによる点字ブロックの識別
- 画像識別AIを活用したブドウ収穫機の研究

機械(ロボットの機構)、電気電子(回路)、情報(プログラム)の知識を応用するため、分野横断的な能力が必要となります。成果主義なので自分のペースで研究を進めたい人におすすめです。



伊藤(絵)研究室



【指導教員】伊藤 絵里香
【5年生】伊藤 大貴、伊藤 凜太郎
【研究テーマ】

- 土壌微生物燃料電池への落葉の影響
- 電気刺激による豆類の成長促進

電気コースで生物的なことをやっている変わり者の研究室です。電気と植物や微生物の関わりについて研究しています。学生からのコメント「特にありません」

Introducing students, staff, research themes, features of labs.

情報コース

Information Systems Engineering

金研究室

[指導教員] 金 帝演
[5年生] 鈴木 蒼斗、菅井 裕次郎、長谷川 智也、八木澤 怜、茨木 珊瑚
[専攻科生] 大場 一世、大森 雄馬、伊藤 翔、田中 須旺
[研究テーマ]
 ● 高齢者向けバスアプリの開発
 ● IoTを用いたペットの熱中症予防
 ● 画像処理を用いた自動運転システムの開発
 ● Lidarを用いた車両位置特定に関する研究

アットホームな研究室です!!!!



大西研究室



[指導教員] 大西 宏昌
[5年生] 五十嵐 秀人、遠藤 大夢、小花 陽菜、濱瀬 暁大、ポリ
[専攻科生] 高橋 柊真
[研究テーマ]
 ● Webシミュレーションを用いた物理教材開発
 ● AR技術を活用した物理現象可視化ツール開発
 ● 量子多体系の数値最適化法の研究
 ● 量子コンピューティングを用いた量子多体系の解析手法開発

学生の皆さんのコメント:「居心地いいです。」「ラフで楽しい研究室です。」「自分のしたいことを出来る研究室です。」「楽しいです。」「面白いです。」「教員コメント:実のところ、楽しい・面白いは学生の皆さんによるものです。」

海洋生物情報工学研究室

[指導教員] 遠藤 博寿
[技術補佐員] 櫻井 淳子、鈴木 綾乃
[5年生] 加藤 康成、佐藤 健、澤田 創、白幡 あおい、長谷部 祥次
[専攻科生] 石塚 心
[研究テーマ]
 ● 生物由来フォトニック結晶の分子生物学的解析
 ● 微細藻類の新規エピジェネティック制御機構の解明
 ● 円石藻 *Emiliana huxleyi* の形質転換系の確立
 ● 円石藻 *Pleurochrysis carterae* の培養条件の最適化
 ● 円石藻 *Tisochrysis lutea* の光合成代謝改変

『二億年天然微細石灰彫刻』興味を持った方はいつでも遊びに来てください。



安齋研究室



[指導教員] 安齋 弘樹
[5年生] 今野 春平、富田 昂志、水口 徹志、菅井 陽
[研究テーマ]
 ● アミロース系天然素材を用いたマイクロ波加熱製作
 ● FDTD法によるマイクロ波加熱解析と実験
 ● スロットラインアンテナを用いた融雪装置
 ● スロットラインアンテナを用いたバイオリアクタ

令和7年度は社会人含む名古屋地区社長4人で台湾にて大人のための台湾留学を実施し、フィジカルAIなどの体験を通して工場でのロボット活用を探る。

高橋研究室



[指導教員] 高橋 聡 **[5年生]** 足立 舜、岡部 美優、佐藤 優磨、庄司 昊平、早坂 明未
[専攻科生] 阿部 蓮司、佐藤 優多、矢口 悠人
[研究テーマ]
 ● IoT学習用教材の開発 ● 情報セキュリティ教材の開発
 ● 積雪検知IoTデバイスに関する研究

パソコン周りの設備が良いので作業がしやすく、3Dプリンターで好きなものが作れます(昊平)。モニター数とパソコンのスペックが情報コースで一番!AIもCAEもやり放題!(優磨)。PC環境が整っており、ラズパイやセンサ類が豊富なので、マイコンを用いた環境開発がしやすいです(舜)。就職・進学活動が終わってから本格的な研究を始めるので、メリハリを持って活動できます(明未)。設備が充実して研究がとてもしやすいです(美優)。自由度が高く、自分の考えや方向性を尊重してもらいながら主体的に研究できます(蓮司)。指導教員の面見がよく、やりたいことを丁寧にサポートしてくれます(優多)。進学・就職が情報コースで一番強いと感じます(悠人)。

森研究室

[指導教員] 森 隆裕
[5年生] 黒田 実里、後藤 太久朗、菅原 勝輝、田口 仁尊、沼田 楓
[研究テーマ]
 ● 機械学習を用いた変形性膝関節症の自動診断
 ● 肩関節角度推定手法の開発
 ● 陸上競技に特化した姿勢推定モデルの構築
 ● スマホ動画と姿勢推定を用いた自動動作解析システムの構築
 ● 単純X線画像からの3次元情報の取得

遅刻癖直したいです(菅原)。ノンデリ発言気を付けます(沼田)。部屋汚いです(田口)。アキレス腱切れがちです(後藤)。私に短所などありません(黒田)。



田中(勇)研究室



[指導教員] 田中 勇帆
[5年生] 田代 雄也、佐藤 寿樹、上林 暖人、小林 巧、小山 煌平
[研究テーマ]
 ● グラフ信号処理を用いたNMR分光法のデータ補間研究
 ● NMR分光法におけるデータ補間のための測定選択研究
 ● 高速なMRI撮像のための測定選択研究
 ● イベントカメラと深層学習を用いた高FPS動画生成研究
 ● 高専生を対象としたセキュリティ教育に関する研究

田中研究室では信号処理技術を用いて世の中の課題を解決する研究を行っています。

倉田研究室

[指導教員] 倉田 かりん
[5年生] 齋藤 颯人、吉田 光太郎、村田 真常、五十嵐 愛斗
[研究テーマ]
 ● アントレプレナーシップ教育*2
 ● ECサイトを用いた購買行動
 ● 画像分析

様々なことに興味を持つ学生が多く、情報コースにとられない研究を行っています。毎週のミーティングを通して、切磋琢磨しています。就職したい方や進学で面接が心配な方は、おすすめ。



ギシエルモ研究室



[指導教員] Guangorena Zarzosa Guillermo Ignacio (ギシエルモ)
[研究テーマ]
 油劣化判定の画像認識

身近な課題を題材に、情報技術を用いた実践的な研究に取り組んでいます。情報分野を軸に、材料科学・生物・化学・健康分野などと組み合わせた研究を行っています。学生の自主性を大切に、週1回のミーティングを通して、問題解決に必要な考え方や分析力を身につけています。

Introducing students, staff, research themes, features of labs.

化学・生物コース

Chemistry and Biology

有機無機機能材料研究室

[指導教員] 森永 隆志 **[技術補佐員]** 本間 彩夏、櫻井 淳子
[5年生] 大内 一加、鈴木 悠羅、佐藤 姫月
[専攻科生] 山口 郁也、矢島 海地、渋谷 優貴、高橋 和聖
[研究テーマ]

●新規アニオン性イオン液体型ポリマーの合成と固体高分子型燃料電池用電解質への応用 ●MTBDを担持した新規カチオン性イオン液体型ポリマーの合成と特性評価 ●フェザープロテインの溶解工程の開発と素材化技術の探索

先輩、後輩関係なくみんななかよしくみ交わしたりちいかわみたりポケボケしたりしてます。森永先生はポケボケガチ勢です。常に何か食べてます。たまにタコバナなんかしちゃったり…(割り勘)楽しいです。



分析化学研究室



[指導教員] 上條 利夫 **[技術補佐員]** 佐藤 千夏 **[5年生]** 佐藤 琉生、岸 恭吾、平井 涼葉
[専攻科生] (専2) 細谷 隆介、松田 千佳、渡部 真夏 (専1) 小杉 健太、富樫 明洋
[研究テーマ]

●濃厚ポリマーブラシ(CPB)と陽極酸化ポーラスアルミナ(PAA)の複合材料PAA-CPBを用いた摩擦低減化
 ●CPBを用いた抗ウイルス材料の開発の簡易化
 ●磁性微粒子による摩擦能動制御システムの開発
 ●テクスチャ構造を有する二硫化モリブデンを組み合わせた低摩擦材料の開発
 ●新規人工繊維材料開発のための摩擦特性評価

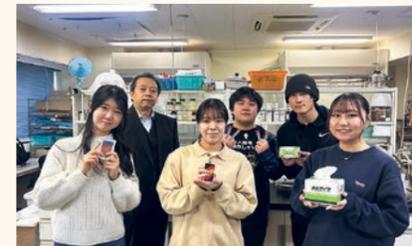
短期～長期まで可。必要なのはやる気だけ!フレックスタイム制を採用し、各自の生活リズムに合わせて研究に取り組みます。ガラス、アルミ、布まで何でも擦れます!摩擦が好きの方はぜひ!!

高分子材料研究室

[指導教員] 佐藤 司 **[5年生]** 遠田 楽育、佐藤 肇信、篠原 日菜乃、沼澤 ひなた
[専攻科生] 長谷川 琴未
[研究テーマ]

天然高分子の性質を利用した新しい機能性高分子材料の開発

先生がとてもやさしく、研究室内はほのぼのとした雰囲気です。先生たちの補助がありつつ、自分で研究を進める充実感を得ることができます。地球環境に興味がある人、天然高分子(グルコマンナン、シルク、もみ殻)が気になる人におすすめ!



植物細胞工学研究室



[指導教員] 南 淳 **[5年生]** 石山 颯大、武政 吾空
[専攻科生] 今野 快音(AC1)、渡會 あると(AC1)
[研究テーマ]

●エゾユズリハの空間遺伝構造の解析 ●アボミクス植物ニガナの繁殖様式の解明
 ●クローナル植物ヤブコウジのアボミクシスの解析
 ●ヤブコウジの空間遺伝構造の解析

ここはオープンワールド探索型の植物生態シミュレーションゲームに限りなく近い研究室だ!山やグラウンドなど様々なフィールドを探索できるぞ!猿の侵略や毒虫の出現、熊の暴走を回避し、個性豊かな研究室メンバーと共にサンプルを手に入れ、世界を支配しよう!

微生物工学研究室

[指導教員] 斎藤 菜摘 **[5年生]** 阿部 寛大、高橋 晴、阿部 桜子、佐藤 颯悟、難波 健仁
[研究テーマ]

●植物代謝物を介した放線菌と植物の相互関係の探求(阿部寛大) ●WODL培養法を用いたPHA生産菌スクリーニングの条件検討(高橋晴) ●食品副生物培地を利用した納豆菌製造のアップサイクル技術の開発(阿部桜子) ●放線菌による稲わら、もみ殻のバイオマス資源化の検討(佐藤颯悟) ●食品材料としての納豆菌粉の物理化学特性の評価(難波健仁)

微生物を利用するための研究をしています。アットホームで楽しい研究室です。普段から協力しながら研究に取り組んだり、たまにみんなでご飯行ったりするので、研究室の中でも外でも仲がいいです。微生物に興味があったり、研究に取り組みつつ仲良く楽しみたい人におすすめです。



無機化学研究室



[指導教員] 伊藤 滋啓
[5年生] 高橋 琢人、工藤 瞭那、須田 悠成、佐々木 葵、小野寺 智代
[研究テーマ]

固体形酸化燃料電池、固体高分子形燃料電池

私たちは、研究者としての成長を目標とし日々の研究活動では、お互いの技術向上のため切磋琢磨に努め頑張っています。

化学プロセス工学研究室



[指導教員] 小寺 喬之 **[5年生]** 佐藤 夏映、佐藤 岬太、西村 和起、安田 勇太郎
[研究テーマ]

●歯科コンポジット用フィラーの化学組成と機械強度の関係
 ●リチウムイオン二次電池用CNT複合LiFePO₄正極材料の調製と電気化学的特性
 ●タイヤ由来熱分解物を原料とした多孔質炭素の調製と吸着特性

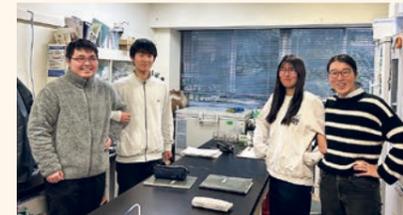
小寺先生「私が育てました」

微生物生態学研究室

[指導教員] 久保 響子 **[5年生]** 鈴木 大祐、菅原 惟歩生、田代 万結
[研究テーマ]

●好冷性海洋細菌の生分解性プラスチック分解活性の実証評価
 ●海洋堆積物由来の天然ゴム分解微生物の探索
 ●日本海沿岸の光合成細菌の多様性

(学生)生き物を育てるのが好きな人、微生物に興味がある人、募集中です!! (久保)楽しく元気に頑張りましょう!



生物有機化学研究室



[指導教員] 八須 匡和
[5年生] 阿部 麗華、池田 智也、太田 俊輔、太田 隼人、佐藤 大貴
[研究テーマ]

●ただち豆の廃棄豆粕から調整するセルロースナノファイバー
 ●新規血圧降下ペプチド類の合成研究
 ●エゴサポニンの抽出と分子改変
 ●メカノケミストリーによる新規糖鎖合成法開発
 ●新規ニューロテンシン誘導体の設計と合成

阿部麗華:主体的に取り組める人におすすめです。池田智也:自分の興味のある研究ができます。太田俊輔:自分のペースで研究を進められます! 太田隼人:先生が優しいです。佐藤大貴:アットホームな職場です。

化学工学研究室

[指導教員] 松浦 由美子

[5年生] ゴンサレス エルナンデスミセル アレハンドラ、土田 知優、野坂 凌功
[研究テーマ]

●もみ殻由来セルロースの抽出およびスルホン化によるスルホン化セルロースのRB吸着試験
 ●もみ殻由来の非晶質シリカによるリン酸イオン吸着試験
 ●L-システイン修飾もみ殻セルロースによる重金属イオン吸着

アットホームな研究室です。



環境生態研究室



[指導教員] 阿部 達雄 **[技術職員]** 伊藤 眞子 **[5年生]** 名和 史雄
[研究テーマ]

白金族元素の回収に用いる無機イオン交換体の開発

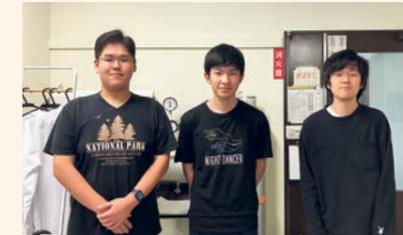
今年はメンバーが少ないですが、先生方とも気軽に話せられる雰囲気が良い研究室です。自分のペースで実験を進められるため気を張らずにのんびり過ごせます。

電気化学研究室

[指導教員] 丸山 祐樹 **[5年生]** 佐藤 航、相馬 悠人
[研究テーマ]

●省面積化したAg/AgCl参照電極の試作と評価
 ●濃厚有機ラジカルポリマーブラシの合成と応用

先生と相談しながら自分のやりたい研究に取り組める、楽しい研究室です! 新設された研究室なので教員との距離が近く雰囲気のいい研究室です!



フィールド科学研究室



[指導教員] 伊藤 卓朗 **[5年生]** 大瀧 璃羽、加賀山 秀仁
[研究テーマ]

●ヤマブドウを用いた樹液流モニタリング技術の開発
 ●体重推定AIを用いたカモの出荷判定システム構築
 ●微生物電気分解の効率化を目指した条件検討
 ●ビール醸造過程における代謝物質の継時変化

私たちの研究室では、教員とじっくり話し合っ、一人一人進んで行い、健康的に研究しています。研究内容を自分で決めるため、気になる研究ができます!一度遊びに来てみませんか?

Introducing students, staff, research themes, features of labs.

令和7年度(令和7年12月1日現在)、クラス毎の進学希望者の割合は、機械コース20%、電気・電子コース21%、情報コース42%、化学・生物コース32%で、全体では29%となっています。進学先は本校専攻科が約64%、長岡・豊橋の両技術科学大学が約14%、新潟大学や筑波大学などの国立大学が約23%となっています。また、専攻科から大学院への進学率は約28%で、東北大学大学院や北海道大学大学院などに進学する学生がいます。

就職状況では、本科の就職内定者全体の25%が県内企業に、75%が県外企業に内定しており、昨年度に比べて、県内企業の占める割合が微増しております。

また、令和8年3月卒業・修了予定者の就職内定率については、例年どおりほぼ順調に推移しているといえます。

求人状況については、本科の求人企業数が684社、求人倍率は本科で9.0倍、専攻科で53.3倍となっており、昨年度と同様に高い水準で推移しております。

本校では、インターシップやCO-OP教育を推進し、就業能力の育成に取り組んでいます。また、進路選択を控えた学生に対しては、年3回の進路指導ガイダンス、大学説明会や企業研究セミナーといったイベントを開催するなど、就職・進学の両面で学生の進路選択を支援しています。

[キャリア支援委員会]

進学内定先 (人数は重複合格者数を含む)

本科生

鶴岡高専専攻科	31名	群馬大学	3名
長岡技術科学大学	4名	千葉大学	1名
豊橋技術科学大学	2名	新潟大学	3名
岩手大学	1名	電気通信大学	1名
山形大学	2名	香川大学	1名
筑波大学	1名		

専攻科

北海道大学大学院	1名
東北大学大学院	2名
長岡技術科学大学大学院	1名
筑波大学大学院	1名

就職内定先 (●は県内企業)

建設業

- 三和メイテック(株)
- 日本オーチス・エレベータ(株)
- (株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- 三菱電機プラントエンジニアリング(株)

食料品

- キリンビール(株)
- グリコマニュファクチャリングジャパン(株)
- サントリーグループ
- 森永乳業(株)

卸・小売業

- アイリスオーヤマ(株)

出版・印刷

- (独)国立印刷局

繊維工業

- 旭化成(株)
- 東レ(株)

化学工業

- 大阪有機化学工業(株)
- 第一三共(株)
- 大日精化工業(株)
- 東北東ソー化学(株)
- 東和薬品(株)
- 日鉄ケミカル&マテリアル(株)
- (株)日本触媒
- 長谷川香料(株)
- ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)
- ペーリンガーインゲルハイム製薬(株)
- ライオン(株)
- (株)レゾナック

石油製品

- 出光興産(株)

ENEOS(株)

- 東亜石油(株)

機械

- SMC(株)
- (株)シンクロン
- (株)牧野技術サービス

金属製品

- (株)ベスト
- 山形メタル(株)

電子・電機

- (株)JVCケンウッド山形
- (株)スクリブル・デザイン
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
- (株)鶴岡高砂製作所
- TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)
- ファナック(株)
- (株)明電エンジニアリング
- ルネサスエレクトロニクス(株)

輸送用機械

- ANAベースメンテナンステクニクス(株)
- 片桐製作所(株)
- カヤバ(株)

精密機械

- オリエンタルモーター(株)鶴岡カンパニー
- テクノ・モリオカ(株)
- テルモ(株)
- 東北エプソン(株)
- (株)日立ハイテック

運輸通信業

- 東急電鉄(株)
- 東日本旅客鉄道(株)

電気・ガス・水道

- 東京ガス(株)
- 東京水道(株)
- 東京電力ホールディングス(株)
- 東北電力(株)

その他

- OKIサーキットテクノロジー(株)
- (株)シマノ
- (株)チノー 山形事業所
- 日東電工(株)
- NITTO(株)

サービス(情報処理関係含)

- アイ・システム(株)
- (株)アピリカ
- (株)エヌ・ティ・ティエムイー
- オムロンフィールドエンジニアリング(株)
- (一財)材料科学技術振興財団
- CTCシステムマネジメント(株)
- CTCテクノロジー(株)
- (株)中央エンジニアリング
- (株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社
- テコム(株)
- 東北環境開発(株)
- ネットワンシステムズ(株)
- パナソニックEWエンジニアリング(株)
- 富士電機(株)
- 丸紅I-DIGIOホールディングス(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- (株)メンバーズ
- 横河ソリューションサービス(株)
- リンク情報システム(株)
- (株)ワコム

令和7年度 卒業・修了予定者進路状況

コース名	卒業・修了 予定者数	進学 予定者数	就職 予定者数	就職内定者数内訳			その他 自営	求人 企業数	求人数	求人倍率
				県内	うち庄内地区	県外				
機械コース	35	8	27	10	7	15	0	-	261	9.7
電気・電子コース	39	8	31	5	5	26	0	-	270	8.7
情報コース	38	17	21	4	3	17	0	-	249	11.9
化学・生物コース	41	13	28	7	5	21	0	-	188	6.7
合計	153	46	107	26	20	79	0	684	968	9.0
専攻科	18	6	12	1	1	11	0	624	639	53.3